



◆ ニュースレターを発行します

文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」において、京都工芸繊維大学と舞鶴工業高等専門学校の共同申請によるプロジェクト「京都の産業・文化芸術拠点形成とK16プロジェクト」が採択されました。大学COC（Center of Community）事業は、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援するもので、地域コミュニティの中核としての大学の機能強化をめざすものです。このたび、活動内容をみなさまにわかりやすくお伝えするニュースレターを発行することにいたしました。さまざまな課題を抱えている自治体や企業のみならず、教育関係者のみならずのご参考になれば幸いです。関係者のみならずには引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆ COC 実行本部会議を開催しました

日時 平成25年9月30日（月）13時から14時30分

場所 ホテルグランヴィア京都

事業採択を受けて、実行本部にて、第一回会合をもちました。各自治体の代表や担当者から今回のプロジェクトに対する期待や要望を伺いました。大学COC事業にさきがけて本学でおこなってきた地域貢献加速化プロジェクトのうち、久保雅義・サステナブルデザイン教育研究センター教授から「ブランドデザインスキルを応用する舞鶴リーディング産業製品の強力市場参入支援及び関連事業の拡大促進をはかる地域創成プログラム（案）のご提案」の紹介があり、北部産業振興における課題のいくつかを提示しました。また、岩崎仁・環境科学センター准教授より「KITキャンパスフェスタ in 京丹後」の紹介があり、小中高教育における地域貢献の内容をご理解いただきました。各自治体からはこれまでの実績や地域の課題を踏まえた連携の依頼などがあり、今後のプロジェクト推進に向けて、貴重な意見交換の場となりました。

◆ 各部会を開催しました

具体的な事業の推進は以下の各部会がおこなっています。いずれも関連する自治体や公的研究機関などと本学教員により構成されています。今回はそれぞれにおいて、実施体制と今後の事業計画について報告を受け、個別のプロジェクトについて、意見をいただき、情報交換をおこないました。

① 北部ものづくり・観光産業等振興部会

京都府北部のものづくりや観光産業等の振興のための取組を推進するための組織です。

平成26年2月7日（金）丹後地域地場産業振興センター（アミティ丹後）にて開催

北部5市2町を中心としたメンバーが集まり、意見交換をおこないました。事例紹介として、京丹後で藤の花の酵母から発酵食品を開発するプロジェクトを展開している井沢真吾・応用生物学部門准教授から、また京丹後地域連携センターについて、行場吉成特任教授から報告がありました。終了後は、京丹後キャンパスの見学会をおこない、今回のプロジェクトで導入することになった酵母および乳酸菌の培養と集菌を可能にする設備をご覧いただきました。



② 文化・芸術発信・交流部会

京都市中心部におけるデザイン発信拠点の形成や文化交流プロジェクトなどを推進する組織です。

平成26年3月4日（火）本学にて開催

京都府及び京都市の担当者、デザイン関係の専門家を交えて、意見交換をおこないました。事例紹介として、大学ミュージアム連携を推進している並木誠士・美術工芸資料館長から、また京都の「知と美と技」をテーマに授業を進めている澤田美恵子・言語・文化部門教授から事例紹介がありました。

③ 伝統・先端産業振興部会

京都市における伝統産業の振興と、市南部に集積する大企業と中小企業をつなぐ先端ものづくり人材育成などを推進する組織です。

平成26年3月20日（木）京都市リサーチパークにて開催（詳細は次号にて報告する予定です）

④ K16 推進協議会

京都（Kyoto）における地域工学系人材（Kogaku）を工織大（Kosendai）が舞鶴高専（Kosen）と連携・共同して育成する教育改革プロジェクトの推進組織です。

平成26年3月22日本学にて開催（詳細は次号にて報告する予定です）

◆ 地域・社会連携室の紹介

COC 事業を担当しているのは、総務企画課内の地域・社会連携室です。事業に関する連絡調整はもちろん、地域のみなさまの声にワンストップで対応する窓口となります。お気軽にお問い合わせください。

606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

Phone : 075-724-7107

Fax : 075-724-7010

E-mail : chiiki@jim.kit.ac.jp



◆ 事業推進に関わる新しいメンバーです。よろしくお願い申し上げます。

○ 津吹 達也 (つぶき たつや) 特任准教授

このたび、1月より総合教育センターへ特任准教授として着任いたしました津吹 達也です。COC 事業ではKI6プロジェクトによるカリキュラム構築に取り組んでまいります。出身は東京。前職ではIT企業での海外事業展開とマーケティングを担当。その傍ら、2008年より立教大学 経営学部ビジネスリーダーシッププログラムにてカリキュラム設計と授業を担当、大学教育での産学連携を推進しておりました。新卒以来12年ぶりの関西生活に大変わくわくしております。公私ともに京都という地にて、人を知り文化を知り、根を張った活動ができるよう頑張りたいと思います。 よろしく願いいたします。



○ 高倉 章雄 (たかくら のりお) 産学官連携コーディネーター

平成26年1月より、京都府北部地域の産学官連携コーディネーターとして就任しました。平成24年3月末に本学を定年退職して以来の再就職です。大学では機械システム工学部門の塑性工学研究室に所属し、材料加工・塑性加工の研究、特に金属薄板の成形技術開発に取り組んでいました。COC 事業では、本学が京都府北部地域に設置する拠点において、京都府北部の機械・金属加工等の分野における技術課題や経営課題の収集・把握及び解決に向けたマッチング及びものづくりや観光産業等の振興に向けた取組の推進の業務を担当します。この事業の推進には、皆様の多大なご協力が不可欠ですので、どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。



○ 小澤 七洋 (おざわ ななみ) 産学官連携コーディネーター

挑戦的な産学官連携で新しい北京都作りを

私は京都工芸繊維大学染色科卒業後グンゼに入社。肌着染色部門から、設備、技術、商品開発関係を主に担当しチャレンジする精神を学んできました。今は福知山に住んでいます。母校と地元に貢献できるCOC 事業に参画することができ喜んでます。実践的開発精神を活かし、デジタルやインターネット技術も積極的に取り入れ地域密着型産学官連携をコーディネートしていきます。北部には豊かな観光資源や特徴ある企業、そして元気な人たちが大勢おられます。この力を結び付け、活気あふれる新しい北部の実現に全力で頑張ります。東京オリンピックには海外の方にも発信出来る北京都を目指します。



○ 丹羽 結花 (にわ ゆか) 地域社会連携専門職

地域社会や住まいなど、日常の生活空間を対象にしたフィールドワークをはじめとする社会調査がおこなってきました。戦前の伝統構法によって建てられた京町家の保全再生を支援するNPO活動にも従事しています。工織大での奉職は、特色GP事務局以来3度目になります。今回は京都府下のさまざまな産業と文化、地域活動に接する機会を得ることになり、多くのみなさまにお目にかかるのを楽しみにしています。実務担当として、各プロジェクトの展開を側面から支援していきます。当面、ウェブサイトの運営など、広報関係を担当しております。お気軽にお問い合わせ下さい。



◆ 事務局だより

◆ 2014 フォーラム「次代を担う理工系キャリアの道標」を開催します。

日時 平成26年3月15日(土) 場所 ANAクラウンプラザホテル京都 2階 朱雀の間(詳細は次号で報告する予定です)

◆ ホームページを開設しました。詳しい活動状況についてはこちらをご参照ください。公開講座や授業などについても随時ご案内していきますので、チェックしていただくと幸いです。www.COC.jp